

中津川市
博物館
だより

恵那山

2021

Vol.22, No.

4



蛍石の結晶

フランス産 (Mont-Roc Mine, Castres, Tarn, Occitanie, France)

最大結晶一辺約3.5cm [EB21170001]

蛍石の色は白・緑・紫・黄色などさまざまあるが、これは冬から春の空をおもわせるような淡い青色の標本
鉱物博物館所蔵

鉱物博物館

第40回私の展示室 大地に眠る石の華 ～地域から発信された鉱物切手～

3月19日(土)から

オリジナルフレーム切手「苗木・蛭川の大地に眠る石の華」を企画・製作した小玉秀男さんが、鉱物をテーマにした切手とそこに描かれた鉱物の標本を紹介します。

- 会 期／3月19日(土)～5月29日(日)
- 会 場／鉱物博物館 企画展示室
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)



チンワルド雲母
岐阜県中津川市蛭川(田原)



トパーズ
岐阜県中津川市蛭川(田原)

(大林)

中山道歴史資料館

企画展 中津川の黎明から中世～遺物からみるヒト・モノの移動～

3月27日(日)まで

督ノ城(徳ノ城)は別名を中津川砦とも言い、前山の尾根の先端にある標高1250m、比高700mの平場にありました。ただし、中津川砦の名称が見られるのは『日本城郭全集』7(1966年刊行)以降のことであり、厳密には督ノ城が本来の名称だと考えられます。

名称に「城」という文字を含んではいるものの、現地に残る遺構は小規模な削平地と一部に石積みがあるだけで、関連遺物も現存しません。『御坂越記』には「徳ノ城、中津川宿の東山、阿寺城の山続にして狼煙山旗立場也、山上は五間四方の平地なり」とありますが、中世(鎌倉時代・室町時代)頃には狼煙台等として使ったものと考えられます。また、同じく『御坂越記』には「岩村よりの出城にて街道押への砦也」との記述も存在します。

この他、崇神天皇の皇子、八坂入彦命が東山道を守備するために設置した城こそが督ノ城であるとの伝承もあり、中津川宿本陣市岡家などに伝わっています。崇神天皇は北陸・東海・西道・丹波の四道に將軍を派遣して四方を平定した大王とされ、市岡家は八坂入彦命の末裔にあたるとも言われています。崇神天皇は御肇国天皇と称されることから大和王権(4世紀～7世紀中頃)の創始者であるとも、実在の人物の事績になぞらえた架空の人物であるとも言われますが、督ノ城と八坂入彦命の伝承も何らかの事実を下敷きにしている可能性があると考え、歴史のロマンを感じずにはいられません。

- 会 期／令和3年3月30日(火)
～令和4年3月27日(日)
- 会 場／中山道歴史資料館 第1展示室
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／1月10日(月・祝)・2月6日(日)
3月6日(日)



督ノ城跡の入口付近(中津川市中津川)

(熊崎)

苗木遠山史料館

企画展 苗木遠山氏の流鏑馬

2月19日(土)から

11代藩主遠山友寿は、文政9(1826)年に並松馬場において、苗木藩では初めての流鏑馬を催しました。

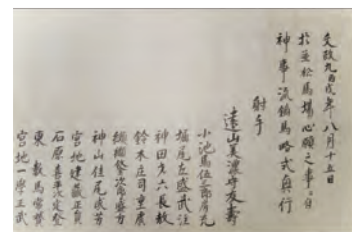
最近、犬山城白帝文庫から流鏑馬に関する問い合わせがありました。犬山城主であった成瀬家の関係筋から寄贈された流鏑馬絵巻一軸の箱の裏に「遠山友寿秘蔵」とあり、関連を調べてほしいとのことでした。調査の結果判明した新事実を貴重な史料とともに紹介します。

- 会 期／2月19日(土)～3月21日(月・祝)
- 会 場／苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)

(小林)



三つの的を連続して馬上から射る(霞上景山画)



藩主友寿の厄払いのため12人の射手が参加

東山魁夷心の旅路館

第Ⅳ期展 静映—倒影する世界

1月6日(木)から

水面に反射する風景は、ときとして実像と虚像が交差する超現実的な世界に変貌します。今回の展覧会では、画家の澄み切った心をそのまま映すかのような、静謐で神秘的な作品を紹介します。

- 会 期／1月6日(木)～3月22日(火)
- 会 場／東山魁夷心の旅路館
- 休館日／毎週水曜日(詳しくは8ページをご参照ください)



揺れる窓(リトグラフ)



静映(リトグラフ)



緑響く(新復刻画)

(入曽)

熊谷樞つけちギャラリー

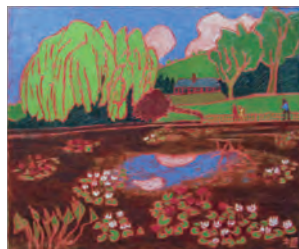
熊谷樞特別展 紅葉の山々

3月27日(日)まで

令和3年12月に開催した第12回熊谷守一大賞展にあわせて開催する、守一画伯の次女であり洋画家の熊谷樞氏の特別展です。

熊谷樞はスケッチブックを片手に世界各地の山々を登山し、自身の体験と出会った自然風景を描いてきました。今回は紅葉をテーマに描いた作品を選びすぐり展示します。ギャラリー初公開の作品も多数あります。90歳を超えてもなお精力的に制作を続ける画家の、生命力あふれる作品をお楽しみください。

- 会 期／令和3年11月3日(水・祝)～令和4年3月27日(日)
- 会 場／熊谷樞つけちギャラリー
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日
- 入館無料日／1月9日(日)



モネの睡蓮池
(2015年制作)



妙義・白雲山
(2018年制作)

(上田)

- 各教室・講座の申込方法など詳細は、各館のご案内をご参照ください。
- 各館の連絡先は8ページをご参照ください。

凡例 作る 学ぶ 体験

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、催し・予定が変更・中止になる場合があります。
最新情報は各館にお問い合わせください。
中津川市の博物館WEBサイトでもお知らせします。
※右のQRコードを読みとると、中津川市の博物館WEBサイトが表示できます。



中津川市の博物館WEBサイト

苗木遠山史料館



金曜講座 史料館調査報告

史料館文書でわかった内容を紹介します。

■講 師：調査員 千早保之

開催日	第4回1/21(金)、第5回3/18(金) 奇数月第三金曜日(隔月)		
時 間	13:30~15:30	対 象	一般
定 員	12名	費 用	資料代 250円
申 込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		



古文書教室 史料館文書を読む

遠山家古文書を解説しながら、みんなで学んでいく教室です。

■担 当：調査員 加藤宣義、千早保之

開催日	第9回1/22(土)、第10回2/26(土)、第11回3/26(土) 毎月第四土曜日		
時 間	13:30~15:00	対 象	一般
定 員	12名	費 用	年間1,000円
申 込	開催日まで随時受付、先着順、途中の回からの参加可		
その他	持物：筆記具、くずし字用例辞典		

中山道歴史資料館



文学講座 島崎藤村文学

木曾の文豪・島崎藤村の生涯と作品を学びます。

■講 師：館長 西村友孝

開催日	第10回1/19(水)、第11回2/16(水)、第12回3/16(水) 毎月第三水曜日		
時 間	13:30~15:00	対 象	一般
定 員	14名	費 用	1回 250円
申 込	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		



古文書講座 史料にみる江戸幕末史

ペリー来航から王政復古に至る幕末期の主な出来事を史料に基づいて解説します。

■講 師：仁科吉介

開催日	A班 毎月第二水曜日 第10回1/12(水)、第11回2/9(水)、第12回3/9(水)		
	B班 毎月第四水曜日 第10回1/26(水)、第11回2/23(水)、第12回3/23(水)		
時 間	13:30~14:30	対 象	一般
定 員	各班14名	費 用	1回 250円
時 間	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		

子ども科学館



アルコールロケットをつくろう

アルコールを使って飛ぶアルミ缶ロケットをつくります。

開催日	時 間	対象	定員	費用	講 師	申込
1/22(土)	9:30~11:30	小学生以上	8名	500円	山内健治さん	締切 1/14



めざせ漫画家!~オリジナル漫画に挑戦~

手塚治虫氏の元アシスタントから教えてもらい、自分だけのオリジナルキャラクターをつくります。

開催日	時 間	対象	定員	費用	講 師	申込
2/5(土)	9:30~11:30	小学生以上	8名	300円	島崎朝子さん	締切 1/28

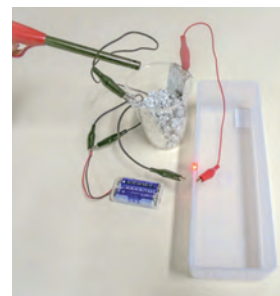


めざせ漫画家! (講師の作品)

エアーマグセルカーをつくろう

塩水で走るミニカーをつくります。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込
2/12 (土)	9:30~11:30	小学生以上	8名	700円	館職員	締切 2/4



カミナリセンサーをつくろう

めざせ漫画家!~プロのテクニックに挑戦~

斜線の引き方や網掛けの描き方など、プロのテクニックに挑戦します。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込
3/5 (土)	9:30~11:30	小学生以上	8名	300円	島崎朝子さん	締切 2/25

カミナリセンサーをつくろう

カミナリが近づくと赤いLEDが光るセンサーをつくります。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込
3/12 (土)	9:30~11:30	小学生以上	8名	300円	桃井制次さん 田口 静さん	締切 3/4

- 定員を超えた場合は抽選です。
- 抽選に当たった方には電話で連絡します。
(不在の場合は、次の方が当選になることもあります。)
- 小学校3年生以下の参加には、大人の付き添いをお願いします。
- 費用は変更になる場合があります。

鉱物博物館

古代人のアクセサリー「まが玉」をつくろう

滑石というやわらかい石で「まが玉」をつくります。まが玉についてのミニ学習もあります。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込	そ の 他
2/20 (日)	10:00~12:00	小学生以上	12名	500円	職 員	1/21~2/4 抽選	小3以下は保護者同伴で 持物:古タオル、エプロン

ちっちゃな鉱物を標本にしよう

小さな鉱物でも立派な標本になります。

鉱物について学びながら、マイクロマウントとよばれる鉱物標本をつくりましよう。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込	そ の 他
3/20 (日)	10:00~12:00	小4以上	12名	400円	職 員	2/18~3/4 抽選	小3以下は保護者同伴で



古代人のアクセサリー「まが玉」をつくろう



ちっちゃな鉱物を標本にしよう

鉱物博物館

緑柱石

緑柱石は、その名のとおり淡い緑色から青色を呈することが多い六角柱状の鉱物で、美しいものは宝石となります。

ベリリウム・アルミニウム・ケイ素を主成分とし、純粋な結晶では無色ですが、微量成分として鉄が含まれることで、淡青色～緑青色・黄緑色・黄色などに着色します。青色系の美しい結晶はアクアマリンと呼ばれます。3月の誕生石です。濃緑色の宝石・エメラルドも緑柱石です。エメラルドの緑色は、鉄ではなくクロムやバナジウムによって発色しています。こちらは5月の誕生石です。



写真1 緑柱石 Beryl
岐阜県中津川市苗木（西八幡）
標本長さ約4cm [EB00140057]

5月の誕生石です。エメラルドの緑色は、鉄ではなくクロムやバナジウムによって発色しています。こちらは5月の誕生石です。

緑柱石はおもに花崗岩ペグマタイトから産し、苗木地方でも産出します。苗木地方では、淡緑色のごく細かい結晶の集合体として産することが多いですが、写真

1の苗木（西八幡）産緑柱石は、青色からほぼ無色のグラデーションをなす結晶で、結晶の成長過程で成分が変化していったことが読み取れる興味深い標本です。結晶のサイズも、約1cmの太さがあり、苗木地方の緑柱石としては最大クラスです。2021年12月に発行されたオリジナルフレーム切手「苗木・蛭川の大地に眠る石の華」では、切手の1枚にこの標本の写真が使われました。

写真2は、苗木地方で多くみられる淡緑色の緑柱石の大きな結晶です。



写真2 緑柱石 Beryl
岐阜県中津川市蛭川（中山）
最大の結晶長さ約4.5cm [EA98220001]

（大林）

東山魁夷心の旅路館

「白夜」

白夜とは、北極や南極付近で夏期に起こる一日を通して太陽が沈まない現象のことをいいます。東山魁夷は、1962年54歳のときに、人気作家として次々に仕事をこなしていましたが、その多忙さゆえ、一度、日常を断ち切り大自然のなかに身を置いて自らを省みる時間を持ちたいと考え、北欧の旅に出発しました。北欧4か国を巡るこの旅で、白夜の季節のスウェーデンやノルウェー、フィンランド各地を巡り、50余りに及ぶスケッチを描きました。

この「白夜」という作品は、その旅で訪れたスウェーデンのボスニア湾にのぞむ入江、ノルディングローでの取材をもとに描かれました。日本内地では高い山でなければ見られない^{もみ}樅や白樺が、まるで湖としか思えない入江に密生し、水面は、白夜の空の、ほの白い薄明りに包まれて鈍い光沢を放っています。前景に白樺の木を配し、後景には、鏡のように水面に倒影された樅の山なみを水平に描くことで、画面に清澄さと奥行きを持たせています。魁夷はこの作品の他にも「映象」や「二つの月」など、同じ形の風景が上下にびったりと結びつき、実像と虚像とが線対称に繋がる風景

を数多く描いていますが、それらの作品からも、かすかな息吹さえ止まったかのような^{せいめい}静謐で神秘的な雰囲気を感じられます。

北欧の旅において、魁夷は「夏が近づくと、日はますます長くなり明るい夜がくる。白夜の森や湖は、なんと美しく、つつましく、生命に対する賛歌を奏でていたことであろうか。」（『風景との対話』）と述懐しています。画家はこの旅で、夏を待ち望み、その到来を喜ぶ自然の^{けいけん}敬虔なたたずまいに、静かで強い生の感動を読み取り、この作品を描きました。



白夜（リトグラフ）

（入曽）

遠山友禄の漢詩

江戸後期の苗木藩主11代遠山友寿・12代友禄父子は膨大な日記を残しましたが、傍和歌を多く詠ったことが知られています。友禄は父と比べて和歌は少なく、僅かに1冊が現存するのですが、その友禄は漢詩をよく嗜みました。時代の流行によるかも知れません。

苗木遠山史料館には、友禄の「詩集」「南陽詩集」等があり、ここでは「霞城詩集」（苗木城内で数人の歌友と幾つかの題をあげて詠った七言絶句集）から一首を紹介します。（右の写真は原書）

農	聴	群	庭	池
事	来	蛙	樹	亭
従	歌	得	雨	聞
今	枕	意	来	蛙
定	眠	聒	晚	
可	難	前	更	友
忙	就	塘	涼	詳

※友詳…のちの友禄
※塘…ため池

四阿の池に蛙の鳴くを聞く

庭の樹々に雨が来て 晩には更に涼くなった
前の池では蛙の群れが 意を得て喧しい

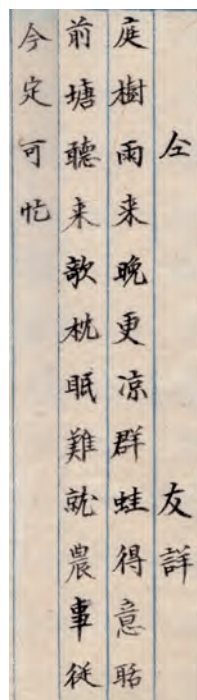
聴きに出ると枕元に歌が残り 寝付きにくい
農事は今からきつと 忙しくなることだろう

これは文久4（1864）年の夏に詠われたものと思われます。文久2年秋、幕府の若年寄を退任して、久々に苗木へ帰り、疲れを癒した日々には江戸へ呼ばれ、再び若年寄という重職に就く合間の安らかな心境をうかがうことができます。

この池は、風吹門前からさくら公園へ向かう途中の、北門近くにある小さな池のことかもしれません。

明治16（1883）年に旧臣新田淳が記した「苗木明細記」には「夏4月頃この池へ引蛙夥しく出て子を生ず。年々替わることなし。一つの奇というべし」とあります。

（千早）



中山道歴史資料館

中津川窯と中世東山道

中津川窯、すなわち、中津川市内における中世の窯業生産の始まりは平安時代末期、11世紀後半頃に求められます。いち早く操業を開始した千旦林の窯ヶ平古窯では、植物灰を釉に使う灰釉陶器（白瓷）の生産が始まりました。しかし、元々上層階級向け製品だった灰釉陶器の需要は中国陶磁の輸入増加に伴って落ち込んだため、職人達は釉の無い民間向け雑器を生産するようになります。こうした無釉陶器を白瓷系陶器と呼びますが、東濃では平安時代末期から室町時代前期にかけて250基余りの窯で生産されました。

その中でも特異な様相を見せたのは、中津川窯です。東濃窯の大半は碗・皿・片口鉢の生産を基本としていましたが、鎌倉時代になると、千旦林から駒場字西山の丘陵地帯に大型壺・片口鉢・甕類を主な製品とする常滑窯系の窯が登場します。これらの窯の製品は周辺地域だけでなく、神坂峠を越えた先、伊那谷にまで搬入されたことが分かっており、中世に至っても東山道が利用され続けたことを示す手掛かりの1つとなっています。

14世紀前半を最後に伊那谷への中津川窯製品の搬

入は途絶えますが、その原因は東山道の駅制崩壊にあるのか、鎌倉時代末期の動乱における信濃国と東濃の反目にあるのか、正確な理由は分かりません。中世の陶器生産地、中津川窯はその系譜を次の時代に引き継ぐことなく、室町時代の初め頃、中洗井北第1号窯を最後に姿を消しました。



岐阜県史跡「中洗井北第1号窯跡」（中津川市千旦林）発掘調査状況（左）
「中洗井北第1号窯跡」で発見された片口鉢（右上）と甕（右下）

（熊崎）

入館無料デーを開催しました

中津川市の博物館6館（鉱物博物館、子ども科学館、苗木遠山史料館、中山道歴史資料館、東山魁夷心の旅路館、熊谷榎つけちギャラリー）では、11月3日（文化の日）に館内を無料開放しました。

鉱物博物館では、砂の中から水晶をさがす「ストーンハンティング」や、花崗岩（みかげ石）をプロの道具を使って割る「石割体験」などを開催しました。

子ども科学館では、午前中にミニ科学工作まつりを開催し、工作コーナーやミニプラネタリウム上映などを楽しんでいただきました。お子さんには、職員手作りのおみやげをプレゼントしました。

苗木遠山史料館では「秋のクイズラリー」、中山道歴史資料館では「中山道歴史クイズ」を開催し、東山魁夷心の旅路館では、先着30名様にポスターをプレゼントしました。

天候にも恵まれ、たくさんの方にご来館いただきました。



ふわふわロケットづくり
（子ども科学館）



中山道歴史クイズ
（中山道歴史資料館）



ストーンハンティング
（鉱物博物館）



石割体験
（鉱物博物館）

中山道歴史資料館

特別展示のご案内

特別展示「渋沢栄一と中津川～町の発展に奔走した人たちと渋沢栄一～」を3月27日（日）まで開催中です。

「日本資本主義の父」と呼ばれ、新一万円札や大河ドラマなどで注目を集めている渋沢栄一と、その時代に中津川の発展に力を注いだ人々を資料とともに紹介しています。

寄贈を受けました

2021年9月～2021年11月受贈分

鉱物博物館

下坂 康哉 様 岩石・鉱物標本 85点
佐野 治仁 様 普及用標本一式
加藤 國男 様 鉱物・化石標本 3点
他 2 名 鉱物標本など

ありがとうございました。

休館日

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

熊谷榎つけちギャラリーは金・土・日および国民の祝休日のみ開館

□ 東山魁夷心の旅路館休館日 ■ その他4館の休館日

*年末年始休館日のお知らせ 12月26日（日）から1月5日（水）まで全館休館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク 中津川市鉱物博物館

〒508-0101 中津川市苗木639番地の15
JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分

FAX 0573-67-2110 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/>

わくわくドーム 中津川市子ども科学館

〒508-0011 中津川市駒場1657番地の1
JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分

FAX 0573-66-9090 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/s/>

苗木城跡歴史の広場 中津川市苗木遠山史料館

〒508-0101 中津川市苗木2897番地の2
JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分

FAX 0573-66-8181 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/>

中津川宿を中心とした歴史の旅

中津川市中山道歴史資料館

〒508-0041 中津川市本町2丁目2番21号

JR中津川駅から徒歩約10分

FAX 0573-66-7021

☎ 0573-66-6888 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/>

木曾谷に抱かれた美術館

中津川市東山魁夷心の旅路館

〒508-0501 中津川市山口1番地15

中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅隣内」

FAX 0573-75-5225

☎ 0573-75-5222 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/k/>

山と青川の小さな美術館

熊谷榎つけちギャラリー

〒508-0351 中津川市付知町4956番地の52

（アートピア付知芸プラザ内）

中央自動車道「中津川IC」から車で約40分

☎ 0573-82-4911 <http://www.kaya-kumagai.jp>

中津川市博物館だより

恵那山

Vol.22, No. 4

2022年1月発行

編集 中津川市鉱物博物館

〒508-0101 岐阜県中津川市苗木639-15

TEL:0573-67-2110 / FAX:0573-67-2191